

次年度における本事業の展開に向けて各校へヒアリングを実施

各校に対し、不登校対策事業についてのヒアリングを実施しているところであり、既に終えた学校の状況や要望等は次のとおり。

1 スクールサポートルーム等の状況

- ◆利用児童生徒に対応できる専用のスペースを十分に確保することができないため、通級指導教室や会議室等の部屋を代用している。
- ◆利用児童生徒の別室対応に常駐して従事できる人員を確保するのが困難であるため、学校側が対応できる曜日や時間帯が限定されてしまっている。
- ◆利用児童生徒の状況によって、短時間のみ利用して下校する場合や、一日使用する場合など、利用形態は様々である。対応する部屋を使い分けることもある。
- ◆利用児童生徒が生活リズムを身につけていく場や、JOTOふらっとを利用する場として活用している。
- ◆利用児童生徒に自主学習してもらったりなど、教室へ戻るためのステップの場としても活用している。

2 各校からの要望等（一部）

【物的支援】

- ◆学習支援は現在学校で使用している学習端末では困難なこともあるので、別途端末を用意してもらえれば助かる。
- ◆別室にて対応している児童生徒に、同時中継で授業を受けさせてあげたいが、モニタを支給してもらうことは可能か。
- ◆スクールサポートルームで児童生徒がリラックスしてコミュニケーションを取り合えるよう、空間づくりの設備を追加したいが、支給してもらうことは可能か。

【人的支援】

- ◆児童生徒の別室対応に常駐して従事できる人員を確保するのが困難であるため支援してほしい（区内にある大学の学生ボランティア等）。

【その他支援】

- ◆児童生徒に生活リズムを身につけてもらうような取組はできないか。
- ◆自宅の外へ出ることすらできない児童生徒への支援策をできないか。